



http://www.ipg.co.jp/press

G NEWS

VOL. 7
2003.1.17

G News



本年もよろしくお願いたします。

Gガイド対応受信機が発売され、1年が経過しました。

この1年間で、多くの広告主様にGガイド広告をご出稿していただきました。
対応受信機も現在3メーカー・10機種になり、本年も多くの機種が発売される見込みです。

引き続き、Gガイドをよろしくお願いたします。



■ ソニー株式会社 インタビュー

今話題のCoCoonを発売している
ソニーの担当部長にインタビューしました。

■今話題のCoCoonの特長をいくつか教えてください。

家電でありながらブロードバンドネットワークにつながる「ホームAVゲートウェイ」という新しいコンセプトを持っています。CoCoonというのは「まゆ」という意味で、ネットワークでのWebはクモの巣の意味ですが、CoCoonは白い繭・シルク・繊細というイメージを持っています。「しなやかに繊細にネットワークにつながる」というイメージです。特徴としては3つあります。

- 1) パーソナライズ— 個々人の個性に合わせて機能がカスタマイズできること
- 2) ユビキタス— いつでもどこでもつながっている環境の意味
Gガイドを利用して面白い番組を探したり、取り貯めたものを携帯電話やPCなどから操作出来、いつでも好きなときに確認したり、将来的には見ることが出来る
- 3) アップグレード— ソフトを追加したり、書き換えることで成長したり、機能を向上させることが出来る

■SONYとしてGガイドの評価と今後の計画について教えてください。

Gガイドは日本で一番最初から使わせていただいておりますが、時代を先取りしてEPGをやられていることは、我々が商品を実現するのに非常に有用で、将来的にもよいアプローチだと思っています。今後は、お客様にGガイドを駆使していただき、より楽しめるような商品を作っていきたいと考えています。

■広告の評価はいかがですか？

現在のCoCoonの第分に当たる機種(昨年5月発売)から広告付きのGガイドになりましたが、ユーザーにも認知されていると思います。実際にソニーとしてはアップグレードの案内(すでに実施)やニュースを提供していきたいと考えています。アップグレードの案内に関しては、ユーザーアンケート結果からも実際に多く見られていることがわかりますし、非常に役に立っていると思います。

■Userもしくは、量販店からの反応はいかがですか？

買った方のユーザーアンケート(ソニー調査)からは購入理由の50%以上の方がGガイドが付いていることを理由に挙げていますし、Gガイドの評価は高いと思います。

販売店からは、操作性が良い・面白い機械であるとの評価を頂き、年末に商品が足りなくなり、ご迷惑をおかけしましたが、年末から年始にかけて増産をしておりますので、潤沢にお届けできると思います。

■CoCoonは今後どのように進化していくのでしょうか？

CoCoonは次の世代に向かって機能がどんどん成長していきますが、アプリケーションをネットワークからダウンロードすることにより、すでに買われたお客様のCoCoon自身も成長していきます。実際に、昨年春モデルでは5回、秋モデルでは1回ダウンロードを実施して成長し続けています。

今回のCoCoonは3つの特徴を備え、特にTVスタイルを変えるということを提案したのですが、今後はオーディオを中心にホームシアターを変える商品や、レコーダーに重点を置いた商品などを出していきたいと考えています。

■今後のGガイドに期待することは？

- 1) 今のGガイドデータは地上波ですが、お客様からはCATVやスカパーなどの多チャンネル・多ソースに対応して欲しいとの要望があります。
- 2) 同様に現在の2日間の詳細番組表を1週間やそれ以上に拡張して欲しいとの要望があります。
- 3) ジャンルなどのカテゴリーを見やすく、探やすく、使いやすいものにして欲しいと思います。
まずは、この3点が最初に改善して欲しい点ですね。



ソニー株式会社
ホームネットワークカンパニー
ネットワークターミナル
ソリューションカンパニー
商品企画部 統括部長
三橋 孝通 さん

ちょっとした機能紹介

テキスト広告

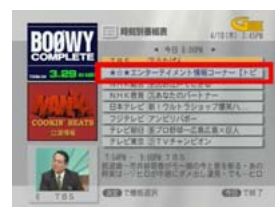
Gガイドの番組表の画面には、テキスト広告という機能があります。テレビ欄スタイルにおいては、番組表エリアの上部に、グリッドスタイルでは番組表の中に表示されます。(グリッドスタイルでは、表示する行も指定することが可能です。)

テキスト広告は、タイトルと解説エリアと詳細情報からなっており、タイトルにカーソルを合わせると解説エリアを表示、決定キーを押すと詳細情報が表示されます。パネル広告と同様に番組連動させることも可能です。

現在は、1日1本程度、主にトピックスコーナーの内容紹介を行っております。



テレビ欄スタイル



グリッドスタイル

■ ソニー安藤社長が米国のCESで基調講演

ソニー株式会社 社長兼COOの安藤国威氏は、2003年1月9日、米国ラスベガスで開催されている「2003 International CES」(開催期間: 1/9~1/12)において、「ブロードバンドフロンティアに向けた"Uの世界"の創造」と題した基調講演を行いました。

講演の中で、エレクトロニクスとコンテンツ、サービスの連携の重要性を語るとともに、ブロードバンドフロンティアに向けてソニーが推進する「ユビキタスバリューネットワーク」の着実なる進歩と更なる飛躍を紹介しました。

ブロードバンド時代の新しいライフスタイルを「ルームリンク」や「プレイステーション2」とともに、ネットワークにつながりテレビの視聴スタイルを変える「コクーン」を、実演を交えながら披露しました。また、テレビは、従来の「映像受像機」から脱皮し、これらの機器やネットワークとつながり様々なサービスやエンタテインメントコンテンツをお客様にお届けする機器になることで、ブロードバンドエンタテインメントの中心として、新たなそして重要なポジションを得るであろうと述べました。